

子育てしやすい社会の実現をめざして

家庭科 家庭総合 総合学科・第2学年
石川県立加賀高等学校

1 事例の概要

本校生徒はアンケート結果にもあるように、結婚や子育てに関する興味・関心は高いが、身近にロールモデルとなる大人の存在の欠如や子どもと接する機会が少ないため「どのように子どもとかかわればよいか」の具体的なイメージが乏しい。また、社会の一員としての視点が十分にはぐくまれておらず「子育て支援社会をどのように形成するか」について考えたことのない生徒も多数存在する。

本事例においてはそのような現状を踏まえ、【ダイヤモンドランキングの作成】という手法を用いて、子育て支援社会の形成に必要なことを自分の価値観と照らし合わせながら考えさせる指導に重点を置いた。

A-1 アンケート用紙

A-2 アンケート結果

2 実践内容

(1) 単元の目標

子どもが健全に育つことをねらいとした児童福祉の基本的な理念について理解し、子どもを取り巻く環境の変化や課題について考える。

(2) 指導上の工夫点（視点）

① 視聴覚教材の提示

世界の子どもたちのスライド写真を効果的に使い、「どのような国、環境に生まれてきても子どもには生まれながらにして幸せになる権利がある」という子どもの権利条約の理念を単なる言葉や知識として教え込むのではなく、生徒自身の内なる気づきを大切に、実感できるように工夫する。

② 演習

ア ダイヤモンドランキングの作成を通して、生徒自身が自分の価値観を見つめ直し、社会の一員として子育てしやすい社会の実現のために必要なことについて、より考えを深めることができるようにする。

イ ダイヤモンドランキングには“子どもが子どもらしく安心して暮らせる社会に必要なもの”というテーマで、「自由」から「その他：自分の考え」までの9つの条件から上位5つを選び、優先順位を付けて書き込ませる。

③ 意見交換

他の人の考えを聴くことで自分の考えをより深めさせるとともに、社会における民意の合意形成の難しさを理解させる。

B-1 ワークシート③

3 指導の実際

学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準
世界の子どもたち	スライドを見ながらプリントの説明文を読み、どこの国の子どもかを考える。 ⇒ワークシート①	説明文の相違点に着目して読むように伝え、考えさせる。 クイズ形式で進める	

<p>子どもの権利条約について</p>	<p>スライドを見ながら、様々な環境で育つ子どもの生活を想像する。</p> <p>指導の工夫① →</p> <p>子どもの権利条約の理念について知る。</p> <p>⇒ ワークシート②</p>	<p>導入部のスライドを利用し、その視覚効果を活かしながら、「どのような環境に生まれても幸せになる権利が子どもにはある」という条約の理念を説明する。条約の内容について確認させる。</p>	<p>子どもの権利条約の理念を理解している。</p> <p>【知識・理解】 (ワークシート)</p>
<p>子どもが安心して暮らせる社会とは？</p>	<p>「すべての子どもが幸せになる権利を持つ」ことを踏まえ、「子どもが安心して暮らせる社会に必要なもの」というテーマで、ダイヤモンドランキングの作成をする。</p> <p>指導の工夫②</p> <p>自分が【1位に選んだ条件の理由】を考える。</p> <p>⇒ ワークシート③</p> <p>お互いのダイヤモンドランキングを見せ合い、順位づけの理由を述べあう。</p>	<p>黒板にラミネート加工したパネル(自由からその他まで)を貼り、ダイヤモンドランキングの作り方について説明する。</p> <p>自分の価値観と向き合う時間</p> <p>指導の工夫③</p>	<p>子育て支援社会の形成に必要なことについて考えを深めている。</p> <p>【思考・判断】 (ダイヤモンドランキング表及び感想)</p>

C-1 指導案

C-2 ワークシート①

C-3 ワークシート②

4 成果と課題

(1) 成果

- ① スライドを見せる前にワークシート①の各国の子どもの生活を書いた説明文を読ませた。文字と映像を併用することで、耳で刺激し、目で確認することができて、より生徒自身の中に深い印象を与えることができた。
- ② ダイヤモンドランキング作成という演習を通して、生徒自身が自分の価値観を見つめ、深く考えることができた。アンケート結果でもほとんどの生徒がダイヤモンドランキングの作成に熱心に取り組み、子育て支援社会について深く考えることができたと答えている。
- ③ 意見交換の後、自然と議論する姿が見られた。より生徒が興味を持つテーマであったと実感できた。
- ④ 事前アンケートでは、子育てを取り巻く社会問題について考えたことがある生徒はわずかだったが、授業後には増加した。今回の授業が社会的視点をはぐくむ一つのきっかけになったと思われる。

(2) 課題

- ① ダイヤモンドランキングの発表の際、ラミネート加工パネルを次々と黒板に張り替えていったが、生徒の結果が一目で分かるような板書の工夫が必要だと感じた。
- ② 意見交換後、自然と議論が起こったことから、内容がより深まるグループ学習へとつなげていける可能性を感じた。どのような形態・流れでグループ学習を行うかが今後の課題である。
- ③ 子どもの権利条約の理解度が低い者が1/3程度いたので、スライドの映像から条約の内容へと続く流れをよりスムーズにわかりやすくする工夫が必要だと感じた。

D-1 事後アンケート結果

D-2 生徒ワークシート・感想

5 その他

参考文献：『家庭科ワークブック 人間の発達と保育』牧野カツ子編著（東京書籍）
『地球家族 世界30か国のふつうの暮らし』（TOTTO出版）